

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 0120-154-052)
2017年4月 相談集計報告

○全体の特徴

■全体で1,030件の相談が寄せられた。前年同月と比べて、60件減少しているが、男性からの相談、40代・60代・70代からの相談、契約社員・臨時非常勤職員からの相談が件数・割合ともに増加した。

■業種別でみると、「サービス業」が18.7%と最も多く、次いで「製造業」(16.7%)、「医療・福祉」(14.2%)となっている。相談内容では、「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」が12.1%と最も多く、次いで「解雇・退職強要・契約打切」(10.8%)、「雇用契約・就業規則」(8.6%)となっている。

■具体的な相談では、「2ヶ月契約を反復更新し4年も勤務しているのに、次回の更新はできないので辞表を提出するよう急に言われた」「4月に1年更新をしたが、次回で契約打ち切りとするとされた。また労働契約書や労働条件通知書をもらえない」「4月から働いている会社と雇用契約を書面で取り交わしていない」といった契約打切や雇用契約に関する相談が契約社員で働く人から多く寄せられた。

		2017年		2016年			
集計対象期間		4月1日～4月30日		4月1日～4月30日			
受付件数(受付件数のみ報告分含)		1,030		1,090			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	588	57.0%	男性	554	51.0%	
	女性	444	43.0%	女性	533	49.0%	
年代 (不明除く)	10代	5	0.6%	10代	14	1.6%	
	20代	92	11.3%	20代	118	13.9%	
	30代	163	20.0%	30代	179	21.1%	
	40代	276	33.9%	40代	242	28.5%	
	50代	171	21.0%	50代	207	24.4%	
	60代	88	10.8%	60代	77	9.1%	
	70代	20	2.5%	70代	12	1.4%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	509	53.3%	正社員	540	51.6%	
	パート	134	14.0%	パート	151	14.4%	
	アルバイト	55	5.8%	アルバイト	80	7.6%	
	派遣社員	55	5.8%	派遣社員	80	7.6%	
	契約社員	117	12.3%	契約社員	98	9.4%	
	嘱託社員	7	0.7%	嘱託社員	15	1.4%	
	臨時・非常勤職員	10	1.0%	臨時・非常勤職員	9	0.9%	
その他	68	7.1%	その他	73	7.0%		
業種(上位) (不明除く)	1位	サービス業(他に分類されないもの)	137	18.7%	サービス業(他に分類されないもの)	125	16.5%
	2位	製造業	122	16.7%	医療・福祉	119	15.7%
	3位	医療・福祉	104	14.2%	製造業	116	15.3%
	4位	運輸業	75	10.3%	卸売・小売業	107	14.1%
	5位	卸売・小売業	72	9.8%	運輸業	71	9.4%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	125	12.1%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	127	11.7%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	111	10.8%	解雇・退職強要・契約打切	106	9.7%
	3位	雇用契約・就業規則	89	8.6%	雇用契約・就業規則	90	8.3%
	4位	退職金・退職手続	89	6.8%	退職金・退職手続	77	7.1%
	5位	賃金未払	60	5.8%	賃金未払	62	5.7%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	19	2.3%	/			
	ラジオ・テレビ	25	3.1%				
	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	99	12.2%				
	ホームページ	423	52.2%				
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	18	2.2%				
	紹介(労基署等)	56	6.9%				
その他	170	21.0%					